

文京区地域福祉活動計画 文京区社会福祉協議会発展・強化計画

(平成28年度～平成31年度)

概 要 版

誰もがつながいをもち、支えあえるまちへ



計画策定の趣旨

近年、我が国の社会では、認知症高齢者の増加や待機児童の問題など、さまざまな課題が浮かび上がっており、地域住民をはじめとしたさまざまな活動主体の力を活かした地域福祉に対する期待がますます高まっています。

文京区では、町会・自治会等の小地域福祉活動や、ボランティア・市民活動団体のさまざまな分野での活動など、地域福祉の取り組みが活発に行われています。このような取り組みを活かしながら、新たな時代に対応できる地域社会の実現と社会福祉協議会の体制整備を進めるために、平成28年度から平成31年度までの4年間で期間とする新たな計画を策定しました。

この計画は、区が策定した「文京区地域福祉保健計画」と連携した計画として策定しました。地域住民をはじめ、地域福祉関係者・関係団体、社会福祉協議会など、さまざまな活動主体が協働して、行政とも連携を図りながら、地域全体で計画を推進していきます。



社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

地域福祉活動計画

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民や民間団体、社会福祉関係者等が協力して策定する地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画です。

基本理念

誰もがつながいをもち、支えあえるまち

～ 誰もがいきいきと自分らしい生き方ができ、地域でのつながりをもち、
ともに支えあいながら、安心して地域で生活できるまち ～

基本目標1 みんなで支えあう地域づくり

文京区では、町会・自治会や民生委員・児童委員等が中心となつて、みまもり活動や居場所づくりなどの小地域福祉活動が活発に行われています。また、4つの日常生活圏域ごとに地域福祉コーディネーターが配置され、地域の力を活かすための支援やネットワークづくりなどを進めています。今後は地域の居場所をさらに増やし、そこを拠点として住民主体の取り組みの輪を広げていきます。



「みまもり」の居場所づくり

主な取り組み

- 地域の交流・支えあいの推進
- 安心して暮らすためのみまもり活動
- 地域活動への参加を促す取り組み
- 気軽に集える居場所づくり
- 地域の防災力の向上

基本目標2 地域で活躍する人財・団体づくり

多くの区民にボランティア・市民活動団体の活動への関心を持ってもらい、参加のきっかけづくりを進めるために講座やイベント等を開催しています。団体の活動を支援するために、ネットワーク構築や環境整備を進めています。今後はさまざまな分野の地域活動に関する情報提供の充実や、社会起業家・NPO法人等の活動も支援できる相談体制等の整備、地縁活動や企業・大学等との交流・連携を図っていきます。

主な取り組み

- ボランティア・市民活動参加のきっかけづくり
- ボランティア・市民活動を活発化する活動拠点づくり
- 企業、商店街、学校・大学等との連携



協力：公益財団法人
アイメイト協会

企業のCSR活動
による障害啓発教室



目指すまちの姿

ともに支えあえるまち

支えあいの信頼関係があり、困ったときに助けあえるまち

みんなが活躍できるまち

障害や年齢などに関わらず、誰もが社会に参加し、活躍できる機会があるまち

安心していきいきと暮らせるまち

身近な地域で、誰もが安心していきいきと生活できるまち

基本目標3 区民の生活を支える仕組みづくり

地域には、支援を必要としている人と支援を提供したいと考えている人がいます。これらの人を適切に結びつけて困りごとの解決を図る仕組みとして、いきいきサービスやファミリー・サポート・センターなどが運営されています。今後は地域住民がより参加しやすく、利用者と担い手をより有機的にマッチングできる仕組みを構築していきます。多様な地域ニーズに対応するため、事業の拡充や地域との連携・協働についても検討していきます。

主な取り組み

- 日常生活を助けあう仕組み
- 子育てを助けあう仕組み



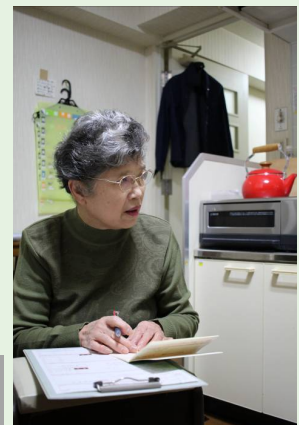
いきいきサービス
産前産後支援研修

基本目標4 安心して暮らせる体制づくり

地域には、困りごとを抱えていても、誰に相談したら良いか、どのような支援があるのかわからない人がいます。今後は関係者間の情報共有と連携を強化し、福祉情報が必要な人に伝わるようにするとともに、気軽に相談しやすい体制づくりを通じて、困っている人が相談や支援に確実につながるための仕組みを充実していきます。また、権利擁護事業の適切な運営を図っていきます。

主な取り組み

- 福祉情報を広く伝えるための取り組み
- 困ったときに気軽に相談できる仕組み
- 権利を守るための取り組み
- 災害ボランティア体制の整備



福祉サービス利用援助事業
生活支援員による事業説明の様子

社会福祉協議会発展・強化計画

社会福祉協議会発展・強化計画は、組織や運営のあり方など、社会福祉協議会の体制整備に関する計画です。

経営理念

私たちは、「誰もがつながりを持ち、支えあえるまち」を実現するために、以下の経営理念を心に留めながら職務に取り組んでいきます。

地 域 を つ な ぐ 文 社 協
一 人 ひ と り に 寄 り 添 う 文 社 協
未 来 に 向 か っ て 挑 戦 し 続 け る 文 社 協

組織体制・業務改善

● 地域のニーズに対応できる組織体制づくり

地域のニーズに対応できる組織体制づくりを進め、地域福祉を効果的・効率的に推進していきます。部会の活性化などを通じて地域の方に参画していただく仕組みについて検討し、改善を図るとともに、職員間・係間の連携を強化し、文社協全体で事業を推進する仕組みを構築していきます。

● 文社協の取り組みの可視化

文社協の取り組みを地域住民、関係者・関係団体・関係機関、行政などに知っていただくために、文社協がどのように課題解決に取り組んだかを記録することで、取り組みの可視化を推進します。

人材育成

● “育ち合う組織” になるための土壌づくり

文社協が“育ち合う組織”になるために、地域で求められる職員像を明らかにした上で、各職員のキャリアに対応した研修受講やOJTの推進等を通じて、効果的な能力開発を行います。また、各職員・係の成果を文社協全体で共有し、活用するための取り組みを実施します。

財源確保

● 広く地域の共感を得て、寄付や会費等の自主財源の拡充を図る取り組み

文社協が区民や関係者・関係団体等に広く共感を得て、組織として成長していくために、会費や寄付などの自主財源の拡充を図ります。効果的で無駄のない経営を行うための財務運営についても検討します。

文京区地域福祉活動計画・文京区社会福祉協議会発展・強化計画【概要版】

地域のこと、生活のこと、活動のこと、
何でもお気軽にご相談ください！！



【ご連絡先】 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会（文社協）

〒113-0033 文京区本郷4丁目15番14号

でんわ 03 (3812) 3040 FAX 03 (5800) 2966

この計画の本編は **文社協ホームページ** でご覧いただけます。

<http://www.bunsyakyo.or.jp/>